

**境町ホームページで
不動産物件の情報発信**

4月30日、役場において、町は茨城県宅地建物取引業協会（山田守会長）と移住・定住の促進に関する協定を締結しました。

この協定は、町公式ホームページを利用した賃貸住宅の紹介や、空き家状況の情報提供などにより、移住・定住を促すことを目的としています。

また、自治会費徴収などの行政区運営の問題にも、ともに取り組んでいきます。自治会や行政区と宅建協会の連携は県内初の取り組みです。

更に、宅建業協会に加え、境町の不動産会社7社でつくる境町不動産サポーターズ倶楽部「すまいる」とも協定を締結し、借家住人へ行政区への参画を促進し、地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。



▲協定を締結した、茨城県宅建業協会と「すまいる」の皆さん

**利根川決壊等の
大規模災害に備えて**

町では、隣接する利根川が決壊した場合に、多大な被害が想定されることから、洪水などの大規模災害に備えて、「洪水ハザードマップ」の作成や「浸水深掲示板」の設置など、防災対策を進めてきました。

この度、更なる防災対策として、災害が発生した時に、住民の避難



▲関東地方整備局での要望活動



▲水管理・国土保全局での要望活動



▲利根川上流河川事務所での要望活動



▲防災ステーション設置の必要性を訴える橋本町長

茨城県宅地建物取引業協会と 「移住・定住の促進」に関する協定

んでいきます。

橋本町長は「まずは、アパートで境町に住んでもらい、ゆくゆくは家を建てていただければ幸い」と述べました。

「防災ステーション」設置に向けて 関係各所へ要望活動

サッカー場の人工芝生化・ 照明設備設置の助成金交付決定!!

**toto助成金
獲得!!**

喜びの声



境町S.S.キャプテンの
古澤 成くん(長田小6年)

あまり人工芝でプレーしたことがないので、早くやってみたいです。卒業前に絶対完成して欲しいです。



体育協会サッカー部部長の
小川 裕貴さん

橋本町長をはじめ、多くのサッカーファミリーのおかげで、待望のサッカー場に生まれ変わります。ここから「境町」を発信していきましょう。



フェニックスFCキャプテンの
建部 陽斗くん(森戸小6年)

人工芝はボールの威力が上がって、いつもより飛ぶので、嬉しいです。夜も練習できるのも良いと思います。



4,600名超の署名

境町サッカー場の人工芝生整備および照明設備化事業に、4,624名の署名が集まり、要望活動の結果、「totoスポーツ振興事業」の助成金交付が決定しました。

今後、サッカー場の人工芝生化・照明設備設置工事は、今年度中には完成する予定となっており、境町サッカー場は近隣市町村で一番の好環境へと生まれ変わります。子どもたちをはじめ多くの町民の皆さんのサッカー場の利用増進が期待されます。



▲4,624名の署名を町長に手渡すNPO法人境スポーツクラブの倉持理事長(写真中央)と、体協サッカー部の小川部長(写真右)